

第8回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
幹事会（会議録）

会議の名称	第3回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 幹事会
開催日時	令和6年6月27日（木） 午後6時00分から
開催場所	岩村コミュニティセンター 2階大会議室
議題	新中学校の名称について 校舎の増築、改修に関する事 学校図書に関する事
公開非公開の別	公開
出席者	委員 安藤善和 渡会由美 原田英明 若森慶隆 安藤常雄 後藤琢磨 深谷友康 教育委員会 岡田庄二 工藤博也 鈴村幸宣 丸山頼彦 瀨瀬千尋 青木茂 郷田賢 古川暉久 市川太一 志津博光 小野千恵実 長谷川棕
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	0名

事務局 皆様、こんばんは。本日は、大変お忙しい中、またお仕事等でお疲れの中、第3回統合中学校準備委員会幹事会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。定刻を少し過ぎましたが、ただいまから開会いたしますので、よろしくお願いします。

山岡地域自治区会長の若森様と上矢作地域自治区会長の安藤様についてはこちらに向かってますので、よろしくお願いします。

会議を始める前にですが、本日もインターネット等で音声配信を行いますので、皆様ご承知おきのほどよろしくお願いします。

今日は、年度明けてから初めてのこれ幹事会になりますので、メンバーも変わっております。ですので、少しメンバー紹介をぐるっとしていきたいと思いますので、原田会長さんから時計回りか、ちょっと中途半端になりましたので、幹事会の委員の方については、実は深谷様から渡会様までが委員になりますので、深谷先生のほうからぐるっとちょっと時計回りをお願いできますでしょうか。

事務局及び委員

自己紹介

事務局 ありがとうございます。1年間よろしくお願いします。本日の司会でございますが、私、瀨瀬が務めさせていただきますので、よろしくお願いします。このまま着座にて失礼をいたします。

それでは、お手元にございます次第に沿って進めさせていただきます。

最初に、教育長よりご挨拶を申し上げますので、よろしくお願いします。

教育長 改めまして、皆さん、こんばんは。日頃は、統合に関わりまして、本当にお時間をたくさんいただいて、本当にありがとうございます。回数も本当に昨年度からということで回数も重ねてきて、確実に前へ進んでいるなということを感じております。まだまだ課題もだし、新たな課題も生まれてくることもあると思うんですけれども、ぜひ子どもたちのために、また地域のためによい学校をつくっていききたいということを思っておりますので、お力を貸していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 それでは、次第の第2、報告事項といたしまして、専門部会等での審議状況について、事務局より説明をさせていただきます。

事務局 では、前回の幹事会以降の審議状況ということで説明をさせていただきます。資料のほうは、2枚で1ページになっておりますが、小さい文字でページ数が入っていますので、ページ数で3ページ目の資料になります。

今回、今年度初めての幹事会という形にはなります。この準備委員会のほうですが、3つの部会がまずあります。総務部会、環境部会、教育部会という部会

のほうで具体的な検討を進めていただいております。現在、23項目の課題について、それぞれの3つの部会で分けて検討していただいているところになります。

総務部会では、中学校の名称や校歌、校章など、あと閉校式典、開校式典といったことについて検討いただいております。

環境整備・PTA・コミスク部会につきましては、校舎の増改築、通学路とかスクールバスの関係等について検討いただいております。

教育活動学校事務部会につきましては、より学校に近いところの課題、教育課程のことや学校行事、生徒会に関わることなどを、学校の先生方と一緒に検討をいただいているところになります。

こちらのほうでそれぞれの課題を検討していただいて、ある程度案をつくっていただいたところを、この幹事会のほうにかけていただくことになります。幹事会で、その内容について審議いただいて、ここで通ったものが、今度、理事会のほうに諮られるという形になってきます。

理事会は決定する機関という形になりますので、理事会で決定をして、その後、最後に総会でもって承認を受けて、教育委員会のほうに上げていくという流れを持っておりますので、こちらの幹事会につきましては、部会から上がってきたものを審議していただいて、理事会に上げていただく機関ということで、ご承知おきいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、資料3ページのほう、前回の幹事会、こちらが3月21日に行われたんですが、それ以降の動きについて簡単に説明させていただきます。

3月29日に第5回の理事会が開催されました。こちら、中学校の名称の決め方やスクールバスの経路や、あと部活動のことについてなどを決めていただいております。

この内容につきまして、第2回の総会が5月20日に開催されました。こちらで部活動、交流事業について承認を頂いているところになります。

同日、委員のほうが変わっていますので、総務部会、環境部会、教育部会、それぞれ総会の後、開催をしまして、昨年度の課題、整理シートの内容の確認、また今年度何をやっていくかといったことについて確認を取っております。

その後、6月に入りまして、それぞれ総務部会、教育部会、環境部会、1回ずつ開催されております。総務部会につきましては、新中学校の名称について検討していただいております。教育部会につきましては、学校図書館のデザインについて、環境部会につきましては、校舎の増築・改修について、皆さんが言っていた意見がどういうふうに反映されているかというところをご議論いただいたという形になりまして、今回はそれぞれの部会から審議いただいた内容を、今回の幹事会にかけていただいて、問題がなければ次の理事会のほうに諮って

いくというような流れになりますので、よろしくお願ひしたいと思います。
以上になります。

事務局 ただいま専門部会等での審議状況について説明をさせていただきましたが、ご質問等はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、3番の議題に入ります。本日は3つの部会からそれぞれ1つずつ議題が出されております。これらの議題は、7月2日に開催されます第6回統合中学校準議員会理事会に提案予定の議題となります。

最初に、「課題 No. 1 新中学校の名称について」を総務部会から説明をお願いいたします。

委 員 総務部会長の原田でございます。細かな数字的なこととかは、後ほど事務局に丁寧の説明していただくとしまして、基本的な概要及び結論的なことについてご説明申し上げます。

まず、4月1日から5月10日までの間に、新中学校名称の公募を行いまして、そのアンケート結果の集計を行いました。その結果、総数109の応募がありまして、数字的には、恵那南中学校、恵南中学校、それから南中学校というのが上位3つになっております。

ただ、その他1票ずつの校名が35ありまして、上位3校名につきましては、ある程度の代表的な提案理由を整理して紹介されていますが、総務部会において、1票しかない校名の提案理由についても公開されるべきだというご意見がありましたので、109件の提案理由につきまして、全て読み上げて皆さんに公表いたしました。

その結果、特段の意見も出ることなく、上位1、2の恵那南中学校、恵南中学校の校名を候補とするという事務局案に結果的にはまとまりまして、総務部会としては、1位の恵那南中学校、そして2位の恵南中学校、これを提案させていただくことといたしました。

その上で、この幹事会でもその方針をご承認いただいて、それで理事会に上げていくという形になることを希望しております。

あとは、事務局のほうからよろしくおねがいします。

事務局 では、事務局のほうから少し説明をさせていただきます。

まず、ページ戻ってください。実は、3ページのところなんですけど、この新中学校の名称を6月6日に決めたときに、実は、協議状況それから今後の予定についてもこれ話をしまして、課題整理シート、5月20日は課題整理シートのちょっと説明だけだったんで、少しずれるところがあります。また、理事会のところでちょっと直していきたいなと思っておるところです。お願いします。

それで、アンケートについて取らせていただいた中で、先ほども会長のほうから109票ということでお話がありました。説明の中で109票、民意の中の

すごく少数ではないかという恐らく意見が出るのではないかということで、事務局のほうでいろいろ調べさせていただきました。その結果、こういうことをご説明させていただきました。令和5年から6年にかけて、同じように公募をかけた地区がございまして、例えば目黒区、目黒南中学校というところ、28万人の都市のところで公募を図った結果205票。同じく目黒西中学校、これについても256票。28万人の中で200票ぐらい。それから、同じように、山形県米沢市ですが、これ、令和8年度開校、令和11年度開校の3つの中学校について、同じように公募を取っておるところなんです、7万7,000人の人口に対して、米沢市の南成中学校というところが130件、それから北成中学校が113件、それから東成中学校が118件ということで、特にこの109の意見ということが少ないわけではなく、公募ということでいくとこれぐらいの意見というのが適正というか、皆さんの意見ではないかなということでお話をさせていただきました。その結果、109票の意見が出てきた中で、恵那南中学校、それから恵南中学校、南中学校というのが非常に数として多かったところがございます。特に、恵那南中学校と回答した理由の中で、やはり地域としてのバランスがいいということ、それから、恵那ということがやっぱりあるというところ、それから、統合の事情を考えると無理やり独自性を出すことにはあまり意味がないのではないかと、県だとか全国で恵那という言葉をやっぱり知ってもらいたいという思いもあるだろうということで、恵那南中学校という言葉がいいのではないかと。

それから、同じ恵南でいくと、5か町村の恵南というところがありまして、こういったことを説明をさせていただきました。

委員のほうからも、恵那南、思いだとかそういうのではないじゃないかというような意見が出るような方もいるかもしれませんが、恵那南という中にもすごくいろいろな思いが詰まっていて、この思いの中にはやはり恵那の南を代表する思いであったりとか、それからやっぱり地域の思いということが当然この言葉の中にもあるというご意見を頂きました。そういった中で、先ほど会長からのご説明いただきましたが、統合中学校の名称としては、第1候補を恵那南中学校、第2候補を恵南中学校ということでということで部会のほうの結論のほうをまとめさせていただいたところになります。

事務局の説明としては、以上になります。

事務局 ただいまの説明対しまして、理事会への提案も踏まえて、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いをいたします。よろしいでしょうか。

それでは、「課題 No. 1 新中学校の名称について」ですが、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、学校名については、第1候補が恵那南中学校、第2候補が恵南中学校であるため、理事会では、まずはこの第1

候補の恵那南中学校で承認はどうでしょうかというような形で進めていきたいと思いますが、いかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

では、そのような形で進めさせていただきます。

続きまして、課題ナンバー9、校舎の増築・改築に関することについてを環境部会から説明をお願いします。

委員 環境部会です。既存の校舎だけでは足りないということで、当然増築あるいは改修が必要という中で、昨年の夏に現地視察をまず行いました。現状把握をしていただいた上で、こうしたらいい、ああしたらいいというアイデア出しを基本的に行っていただくような構成にしました。

その中で、既存のグラウンドとの兼ね合いもあって、新しい校舎を造っていくことについて、基本的な考え方をまず大切な考え方として捉えております。それを(2)のところに書いております。

結果的ですが、増築校舎は、現行のグラウンドの東側といいますか、校舎に向かって右側です。ここに、窓が南向きで横並び、3教室ずつを2階と3階部分のところに、増築のところに設けると。なおかつ、既存の校舎としては、渡り廊下でつなげて、増築する校舎にバリアフリーの対応で、エレベーターの設置を予定しましたので、バリアフリーは結果的に両校舎ともできるというような形を考えております。

たくさんアイデアが出てきた中で、特徴的なことなんですけども、恵那の地の材木を多く利用して、優しい雰囲気の教室というか、学校にするというようなことが出てきました。

それから、今の山岡中学校は、ランチルームというのがあって、非常に和やかな雰囲気の中で食事が摂れるんですが、これが今度生徒が増えますと対応がし切れないというようなこともあって、なおかつ、図書館が各学校からのものが集まりますので、そうした蔵書の関係もあって、ランチルームを図書館にすると。なおかつ、現行の、その上にあります図書館とは階段で結ぶということを考えています。

それから、トイレの数等についても、当然生徒が増える分については数を対応をしていくということをしております。

それと、今、全国的だと思うんですけども、各教室にエアコンの設置ということもなっております。それぞれ太陽光パネルを屋根のほうには設けるというようなことが特に特徴的です。

あと、19ページ目以降に、配置図、図面等がありますので、これは事務局のほうから補足でお願いします。

事務局 では、私、部会のリーダーのほうからお話をさせていただきます。

お手元に大きな図面として書かさせていただいております。それと、もう一つのA4の資料の16、17、18ページになります。

そこに書かれているところは、まず16ページにおいては、校舎づくりにおける大切な考え方というものを整理させていただいております。そこに①から⑧という番号が振っております。また、18ページの(4)アイデア・提案事項というところにも、①からここは⑭まであります。これは、前回、幹事会、理事会をしたときにも、こういう形で提案して、具体的な設計に反映をできるものはして欲しいということで、そこから、今実際の建築の設計に入るわけですが、今回A3サイズの図面にありますように、このまず1枚目にあります配置図と書かれた全体の図面の中に、「集会用スロープの設置」が左上にあります。ここに「(2)の⑤」と書かれています。この数字と、先ほどのA4の書類のほうのこの16ページ、「(2)校舎づくりにおける大切な考え方」、この「(2)」とこの「⑤」という番号が一致するように表記はしています。

例えば、ここで行きますと、「(2)の⑤」で行きますと、緊急の生徒引渡しの際に配慮した車両の通行路線を校舎の周りで確保してほしいよねというご提案がありました。それに対しまして、現実的な今の設計ですと、校舎の周りにはあるんですが、グラウンドには少し高低差があるので、スロープを設けて車が下に下りれるようにして、校舎の周りを周回するような形で車を動かすことによって、引渡しの際の動線を確保しましたということを示したものです。

このような形で、あとA3の全体の図面の裏面ですと、増築校舎の1、2階、もう一枚めくると増築校舎3階、あと既存校舎の平面図がずっと載っております。こういう形で符号がついてあるところは、部会のほうでいろいろなアイデアを出していただいた提案が、現実の設計にどのように反映されているのかというところで表記をさせていただいております。基本的に、提案いただいたものはほぼ採用する形で反映ができてきたというふうに考えております。その中で、一つ、A3の分を1枚めくっていただいた「増築校舎3階屋根」というふうに書かれた図面のやや右上に表がございます。「普通教室の面積の比較表」がございます。これは、施設見学を山岡中学校の現況を見に行ったときですけれども、委員の皆様から、ちょっとほかの学校よりも今の教室の大きさは少し狭いよねというご意見を頂いた中で、現実的にちょっと狭いという状況です。それに対して、今度の学校は、生徒数も増えるということで、少し広々とした造りを積極的に考えてほしいというところを取り入れたというところの中で、他校との比較の表をここで載せてございます。この表の下から2つ目が、現況の山岡中学校の教室の面積57.6平米、それに対しまして、今回新しく造る校舎の教室ですけど、一番上の表67.2平米ということで、以下、各中

学校ございます。大体64平米前後というところに対して67というところで、ほかの学校よりも広々とした空間づくりをということで取り入れさせていただいたという状況で、教室には余裕もございますし、廊下というところがワークスペースを兼ねたというところで、ここも4m以上の幅がある、広い空間をつくらせていただきました。廊下兼いろんな活動ができるというふうに取り入れさせていただいております。こういうところが一つ特徴的なのかなと思っております。

あと、もう一枚めくっていただきますと、既存の校舎をどのように改築をしていくのかというところを示したものになります。

例えば、2枚目をめくっていただき、既存校舎の1階の図面の、今、生徒玄関で使っている場所、ここがもう生徒玄関ではなくなるというところで、ここを文化交流スペース、各地域の特色を生かした活動ないし、そういう展示のできたスペースが欲しいですねというところで、ここにそういうものをご用意させていただくスペースを設けておりますし、校内教育支援センターと書かれたのは、不登校児童生徒の居場所づくりであったりというところと、もちろん生徒が増えるということで、各特別教室を広くする、または2つ3つ教室を増やす等も配置をさせていただきました。このような形でアイデアを取り入れさせていただいて、現実に今設計が進めているというところでございます。

部会のほうでは、これにつきまして、アイデアがこのように反映できたということで、これでご承知いただいて、これを基に建築のほうの設計、そして実際の建築工事のほうに進んでいただければということで、意見はまとめさせていただいておりますので。この幹事会におかれましても皆様ご承認いただいて、これにて理事会のほうにまた確認していただくという流れで進めていただければありがたいかなと思っております。

説明は、以上とさせていただきます。

事務局 ただいまの説明対しまして、理事会への提案も踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いをいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、「課題 No. 9 校舎の増築・改築に関すること」について、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

続いて、「課題 No. 21 学校図書に関すること」を教育部会から説明をお願いいたします。

委員 では、25から26、27となりますけど、学校図書に関する主に活用の仕方について意見をまとめたものを基に、広いスペースが必要である、利用しやすい環境づくりが必要である、快適な空間づくりが必要であるというような案を

まとめて、皆さんから具体的な意見をさらに頂きました。おおむね、もうこちらの提案した案で賛成ということで話が進んできました。

あとは、細かいところについては、よろしくお願いします。

事務局

それでよろしいでしょうか。

では、事務局のほうから補足の説明のほうをさせていただきます。

まず部会のほうで、昨年度までに設計のほうに反映していただきたいというふうに提案をした、今話があった広いスペース、利用しやすい環境づくり、快適な空間づくり、これらのところは基本的にもう設計のほうに反映されているということでご確認を頂いて、ご了承のほうを頂きました。

ただ、そのところに、こんなスペースもできますよということで、いろんな閲覧スペースであるとか、書架であるとか、大きなところの図書館の1階のA3のほうには、ミーティングエリアとかプレゼンエリアとかいろんなエリアがあるわけですが、こちらの位置であるとか大きさ等については、より使いやすくなるように、今後もまたさらに図書館司書の方の意見なども取り入れながらよりよいものにしてほしいというようなアイデアのほうはまた頂きましたけれども、今進んでいるこの基本的な設計のこのところについては、このまま進めてほしいということを今度の理事会のほうに上げてほしいということで意見のほうがまとまったところです。

以上になります。

事務局

ただいまの説明に対しまして、理事会への提案も踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたら、お願いをいたします。よろしいでしょうか。

それでは、課題ナンバー21、学校図書に関することについて、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

これで本日の議題のほうは終了となりますが、幹事の皆様からほかに何かございましたら、お願いしたいと思います。よろしいですか。

それでは、本日予定しておりました議題は全て終了いたしましたので、これで第3回幹事会のほうを終了したいと思います。

来週、7月2日開催の理事会につきましては、よろしくお願いします。

また本日のように、部会長さんのほうが大体の概略を説明していただいて、事務局のほうの詳細を説明するというようなスタイルで持っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、本日はどうもありがとうございました。